

履歴書の書き方と提出方法

JICA 海外協力隊の派遣に先立ち、派遣国から正式な受入確認を取り付けるため、JICA にて各 JICA 海外協力隊の外国文の履歴書を作成します。この履歴書は、現地受入機関・配属先に、あなたの持っている技術・経歴を説明する重要な書類となります。

今回提出していただく記入用紙は、その履歴書作成に必要な情報を記入していただくものです。

記入例・記入方法をよく読み、不可分のないように記入の上、提出して下さい。

1. 記入に当たりの留意点

記入にあたり以下のことに留意して記入してください。

- ・記入用紙の①と②は、必ず1枚ずつ片面で使用してください。
- ・日本語は楷書体、アルファベットはブロック体で、読みやすいよう丁寧に記入して下さい。
- ・コード・年号の記入の際には、別添の表を参考にして、間違いのないように記入して下さい。
- ・ローマ字表記は、別添の「ヘボン式ローマ字表記法」に従って記入して下さい。
- ・固有名詞などは、必ず正式名称を記入してください。わからなければご自身で調べて下さい。
- ・経歴文中の固有名詞には、必ずふりがなをふってください。
- ・「隊員履歴書」として様式の統一を図っています。例に沿った記入を心がけて下さい。
- ・誤解・勘違いを防ぐため、わかりやすくシンプルに書くことを心がけて下さい。
- ・履歴書記入用紙は、エクセルファイルの様式を使って内容を打ち込み・メールへの添付・送信を行ってください。それが出来ない場合、同じ様式の PDF ファイルを印刷・手書きで記入の上、スマートフォン等で写真を撮影し、メールに添付してお送りください。それも出来ない場合に限り PDF ファイルを印刷・手書きで記入の上、その用紙をバークレーハウスへ郵送してください。

なお、外文履歴書作成に当たっては、記入いただいた内容を基に所定の書式に再構成して作成いたします。ご了承ください。

2. 履歴書用写真データについて

履歴書写真の撮影は写真店で行い、データを購入してください。印刷する必要はありません。撮影の際、下記の点に十分注意して撮影願います。

【写真店にお伝え頂く内容】

- ・サイズが縦4.5cm×横3.5cmのもの（パスポート申請用写真の規格）
- ・350dpi換算で、482×620ピクセル以上のデータサイズと写真店にお伝えください。また、写真店が写真データの切り取り加工サービスを行っていない場合、こちらで切り取り加工をさせていただきますので、切り取り後の画像が荒く不鮮明にならないように、十分なピクセル数のデータ容量をお願いいたします。
- ・6ヶ月以内に撮影されたもの
- ・上半身無帽で正面を向いたもの

- ・男性はネクタイ着用、女性はこれと同程度の服装を着用
- ・背景（影を含む）がないもの（白が好ましい）
- ・カラー写真
- ・データの形式は、JPEGデータとすること

3. 提出方法について

メールにてご提出ください。

エクセルファイルの様式に入力した履歴書記入用紙データと履歴書用写真データの 2 点を、メールに添付して下記のアドレスに提出してください。

【e-mail アドレス】 jica.rirekisho@berkeleyhouse.co.jp

重要 送付する際は、下記の点にご留意ください。

- ・メールの件名と履歴書データファイル名、写真データ名は、【受入れ予定国 名前】
また、アップル社の Mac や ipad でエクセルファイルを編集された方が、.numbers ファイルで送られて来られる方が多い様ですので、エクセルファイルか PDF ファイルで送ってください。
- ・本文に「名前」、「受入予定国」、「職種」（合格した要望調査票に記載している職種です）、
「隊員区分（青年海外協力隊／海外協力隊）」を必ず記載すること。

履歴書の提出期限は、HP 上にある提出期限一覧をご確認ください。

4. お問い合わせ先

記入に関して不明な点等がありましたら、下記までお問い合わせください。

【バークレーハウス語学センター JICA 履歴書担当】

TEL : 03-3262-2711（JICA 履歴書担当：長谷川、満生）

FAX : 03-3288-1684

住所：〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-11 第 2 星光ビル 7 階）

e-mail アドレス：jica.rirekisho@berkeleyhouse.co.jp

※お問い合わせの際は、件名を「JICA 履歴書作成に関するお問い合わせ（名前、受入予定国）」としてください。

次ページから、記入例を示します。ご自身の履歴を記入例に従って記入用紙へ記入してください。それぞれの項目に対する詳細な記入方法は、記入例の後に記載してあります。

記入用紙①（基本情報）の記入方法

● 氏名

- 漢字表記欄：戸籍に記載されている字体で記入し、ふりがなも必ず記入して下さい。
- ローマ字表記欄：姓・名の順に、ローマ字（ヘボン式：別添の表を参照）で記入して下さい。
- ただし、パスポートをお持ちの方は、パスポートに記載の氏名ローマ字表記に合わせて記入して下さい。

● 生年月日

- 西暦で記入して下さい。

記入例：昭和 54 年 12 月 12 日 ⇒ 1979 年 12 月 12 日

● 学歴

- 最終学歴を一番上に記入し、新しい学歴順に高校入学以降の学歴のうち最大 3 つまで記入して下さい。（中学が最終学歴になる場合は、中学入学・卒業の学歴を記入して下さい）
- 入学・卒業および取得年月は後に記載の元号/西暦対照表を参考に、西暦で記入して下さい。
- 現在在学中の方は、在学中の学校を一番上に記入し、学位記入欄に「在学中」と記入して下さい。（卒業欄の年月の記入は不要です）
- 高校名には、専攻科（普通科、商業科、工業科、等）を併記して下さい。
- 大学名には学部・学科（コース）、大学院には研究科・専攻（コース）を併記して下さい。
- 学校名等はふりがなも必ず記入して下さい。
- 学校名等が英語等の場合には、そのまま英語等で記入して下さい。
- 卒業されてから学校名・学部名・学科名の変更があった場合、当時の正式名称を記入の上、括弧書きで現在の正式名称も記入してください。
- 学位欄には、高校は「卒業」、専門学校等は「修了」、短期大学・大学・大学院は授与された学位（短期大学士・学士・修士・博士）および専攻分野（工学・教育学など）を必ず記入して下さい。学位の取得有無や専攻分野が不明の場合は、卒業証書で確認、または卒業校に問い合わせるなどを行い、正確に記述してください。但し、卒業校で学位の取得がない場合は、経歴文に記入するようにしてください。
- 省庁大学校や職業訓練校などの文部科学省所管以外の学校を修了した後、大学評価・学位授与機構より学位を授与された場合は、大学評価・学位授与機構から学位を授与された年月とその学位を記入して下さい。（学校の学歴の学位欄には「修了」と記入し、学位授与機構の学歴の学位欄に授与された学位を記入）
- 論文提出による博士の取得の場合は、資格欄に記入してください。（下記資格参照）
- 海外において課程修了によらない学位の取得（学士、修士、博士）があった場合も記入して下さい。

[注意]以下の経歴は学歴に入れず、必要に応じて記入用紙②（経歴文）に記入して下さい。

- 省庁大学校や職業訓練校など文部科学省所管以外の学校を修了し大学評価・学位授与機構による学位授与は受けていない場合、および、称号の付与を伴わない専修学校の一般課程などの修了

- ・ 大学間の交換留学や、1年未満の語学留学
- ・ 退学した場合(博士課程における「単位取得退学」も含む)

● 資格

- ・ 要請内容に関係のあるものは必ず記入して下さい。
- ・ 所有資格は、別添の「資格コード一覧」を参照し、コード番号と資格名称、資格の取得年月を併記して下さい。種別・級別なども忘れずに記入して下さい。
- ・ 「資格コード一覧」に該当する資格がない場合は、コード欄は空白にして、その資格の正式名称および認定団体を記入して下さい。海外で取得した資格は、資格名称や団体名称をオリジナルの表記で記入すると共に、英語での表記も併記して下さい。
- ・ 一覧にない資格の認定団体名称は、正式名称のあとに記入して下さい。
- ・ 論文提出による博士の取得の記述は、資格コードを 00001 とし、取得学位および論文の報告番号と取得年月日を記入してください。
- ・ TOEFL については、「種別・級・点数など」の欄に、点数とともに CBT（コンピュータ版 TOEFL）か PBT（ペーパー版 TOEFL）か iBT（インターネット版 TOEFL）かを併記して下さい。
- ・ 「普通自動車運転免許」については、所持している場合でも記入する必要はありません。

記入用紙②（経歴文）の記入方法

ボランティア要望調査票で必要とされている技術・経験などについて、記入例を参考に作成して下さい。

- 経歴文は必ず4項目以上記入して下さい。
- 事実のみを新しい経歴から順にまとめ、1項目最低30字以上、40～60字程度で記入して下さい。
- 期間を必ず記入してください。年号は元号/西暦対照表を参考に、全て西暦で記入して下さい。
- 場所（○×病院で、等）を必ず記入して下さい。
- それぞれの経歴で、いつ、どこで、どのような立場で、何を行ったのかを具体的に書いて下さい。「感銘を受けた」等の基準があいまいな表現は避けて下さい。
- 主語は記入せず、文末は必ず過去形「～した」「～であった」で記入して下さい。
- 固有名詞（地名・人物名・組織名等）には、必ずふりがなを振って下さい。
- 専門分野で使用されている略語・専門用語には、その後ろに括弧書きで日本語の正式名称を記入して下さい。

記入例：ICU（集中治療室） CGU（冠動脈疾患集中治療室） PCM（参加型問題解決手法）
MR（医療用医薬品営業）

- 組織・団体名については、略称ではなく完全な表記を記入して下さい。
（例：×JICA ○独立行政法人国際協力機構）
 - 経歴文中に年号を用いる場合は、西暦表記に統一して下さい。
 - 記入用紙①「資格欄」に記入した資格については、記入用紙②には記入しないで下さい。
 - 「JICAの指示による技術補完研修」については、当方で定型文を記入しますので、受講した研修名と期間を記入用紙②下段の技術補完研修記入欄に記入して下さい。技術に関する自己学習は補完研修の欄ではなく、（必要であれば）経歴文中に記述して下さい。
- 経歴文中の専門用語および地名
 - 専門用語欄は、翻訳者が経歴文を翻訳する際に使用するものです。専門外の人が読んでもわかるよう、経歴文に出てくる用語等で、翻訳の参考になるとと思われる英単語をこの欄に記入して下さい。
 - 経歴文中に出る読み方の難しい地名については、その読みをローマ字で記入して下さい。
 - 海外の地名については、オリジナルの綴りを記入して下さい。
 - 曖昧な用語、正式ではない用語は記入せず、英語として正しい表現を記入して下さい。
 - JICAの指示による技術補完研修（JV対象）
 - 研修名欄には、「研修先」ではなく「研修名」を記入して下さい。
 - JICA指示の自己学習や自動二輪車講習、JICAの指示によらないご自身での研修受講や学習については、技術補完研修欄ではなく、必要があれば経歴文記入欄に記入して下さい。

- 職歴

主な職歴の在職期間、勤務先および配属先名称、最終の職位を新しいものから順に記入してください。勤務先の組織・団体名および部署名等は正式名称を記入して下さい。また、ふりがなをふってください。

- JICA 経歴

JICAでの活動経歴(下記の表参照)をお持ちの場合は、活動期間、受入国、活動形態、職種・指導科目・プロジェクト名などを新しいものから順に記入して下さい。

該当する JICA 活動経歴

専門家など <u>長期:1年以上</u> <u>短期:1年未満</u>	長期専門家	「指導科目」を併記してください
	短期専門家	
	調査団員	「指導科目」又は「プロジェクト名」を併記してください
	チーフアドバイザー(長期/短期)	「プロジェクト名」を併記してください
	業務調整員(長期/短期)	
協力隊など	青年海外協力隊員	「職種」を併記してください
	日系社会青年ボランティア	
	シニア海外ボランティア	「指導科目」を併記してください
	日系社会シニア・ボランティア	
	ボランティア調整員	

職種分野別 経歴文例

保健衛生分野

- **実務経験を中心に、携わった業務を詳しく記入して下さい。**その際、わかりにくい専門用語には括弧書きの説明を挿入するなどして、わかりやすい文章を心がけて下さい。

例：看護師

- ・上記短期大学で看護学全般と公衆衛生、地域看護学について学んだ。
- ・在学中、病院において臨床実習を、保健所等において地域実習を行った。
- ・課外活動として学生赤十字奉仕団に参加し、重度心身障害児病棟を訪問してのレクレーション、障害児への介助、献血活動を行った。
- ・〇〇大学医学部附属病院に看護師として勤務し、脳神経外科・麻酔科病棟で小児から老人までの脳神経疾患の看護に携わった。
- ・〇〇市民病院のICU（集中治療室）・CCU（冠動脈疾患集中治療室）病棟に看護師として勤務し、急性期における看護に携わった。
- ・新人看護師に対し、基礎看護技術の指導も行った。

教育分野

- **教員免許や教員経験のある方は、実務経験や実習経験などを中心に、具体的な記述を心がけて下さい。**学校卒業後すぐに応募され、教員経験や教員免許などが無い方は、大学時代の研究内容、卒業論文の詳細、塾講師・家庭教師の経験などを中心に記入して下さい。

例 1：日本語教師

- ・上記短期大学で国文学と日本語教育を専攻し、日本語教授法についての知識を習得した。
- ・上記大学文学部に編入後、日本文学について学び、特に近代文学作家を研究した。
- ・卒業論文では〇〇〇〇を取り上げ、その生涯と作品の関係を研究した。
- ・在学中、教育実習として1ヶ月間、〇〇中学校の2年生に国語を週10時間教えた。
- ・〇〇〇日本語学院にて初級の韓国・中国人クラス、アジア・欧米混合クラスを週〇時間ずつ担当し、また、サウジアラビア、クウェート、カナダ、ドイツ、台湾などの人々に対し、プライベートレッスンを週〇時間ずつ担当した。
- ・YMCA・〇〇県〇〇難民定住援助協会の日本語教室で週〇回ボランティアとして日本語を教えた。

例 2：理数科教師

- ・上記大学で分析化学・有機化学・物理化学・生化学などに関して研究し、化学全般に関する知識を習得した。
- ・卒業論文では〇〇〇〇についての研究を行い、日本化学会で発表を行った。
- ・在学中、塾講師として10人程度の中学生に理科と数学を教えた。
- ・在学中1ヶ月間、〇〇高等学校で教育実習を行い、2年生の化学の授業を10コマ担当した。
- ・〇〇県立高等学校に勤務し、化学を担当し、1年生の学級担任を務めた。
- ・在職中、陸上部、バレーボール部の顧問を歴任した。

農業分野

- 大学や研究機関などで取り組んだ研究内容に加えて実務経験があれば記入して下さい。その際、配属先の要請背景を参考にして、関係が深いと思われるものから記入して下さい。

例：野菜

- ・ 上記大学で途上国及び日本の農業開発、環境問題について学んだ。大学○年次から国際農業開発研究室にて農業と環境の関係について研究した。卒業論文では有機質資材の有効利用とその必要性をテーマに、生ごみの堆肥化を取り上げた。
- ・ 在学中、○○県農業試験場でナスやトマトの栽培管理について研修した。
- ・ 在学中、○○県の酪農家で搾乳・フェンスの作成も経験した。
- ・ ○○農場において主に花き類の店頭展示・運搬業務に携わった。
- ・ ○○県○○市にある○○大学○○熱帯農場で研修を行い、キャベツ、ニンジン、スイートコーン、インゲンマメ、ラッカセイ、ハクサイ、トマト、サトイモ、ジャガイモ、マリーゴールドの栽培を行った。

加工・保守操作分野

- 職種に関係のある経歴を中心に、「いつ、どこで、どのような立場で、どんな業務を行ったのか」を記入して下さい。また、職種に関係のある論文や受賞などがある場合は、それも記入して下さい。

例 1：自動車整備

- ・ 上記専門学校で自動車工学を学び、自動車整備に関する基礎知識を習得した。
- ・ ○○自動車ディーラーの○○株式会社に勤務し、○○工場で自動車整備を担当した。
- ・ 工場では車検・定期点検のほか、ガソリンエンジン・ディーゼルエンジン・オートマティックトランスミッション等の保守・整備に携わった。
- ・ 車検班のリーダーとして、○人程のグループの統括者を務めた。
- ・ ○○サービス技術大会に出場し、第○位に入賞した。

例 2：コンピュータ技術

- ・ 上記大学院修了後、○○株式会社で情報処理科目を中心に指導した。
- ・ 理論については、ハードウェア・ソフトウェア・ネットワーク・データベース等、言語については、COBOL85・HTML (Hypertext Markup Language) ・Visual Basic ・Basic 等、アプリケーションについては、Microsoft 社の Access ・Excel ・PowerPoint ・Word 等を指導した。
- ・ 地域住民及び教員対象のパソコン講習会も上記内容で定期的に行った。
- ・ 個人研修として、県立情報処理センターにおける情報処理関連講座を受講した。
- ・ これまで「CAI (computer-aided[assisted]instruction コンピュータ学習支援) 導入の功罪」、「情報化のもたらすもの」などの論文を発表した。

スポーツ分野

- 職種に関係する種目についての経験を中心に記入して下さい。その際、基準があいまいな内容（人間的に成長した、精神的に鍛えられた等）は記入せず、「何を行ったか」を記入して下さい。具体的な成績がある方は、以下の例に従って時期と成績を列挙して下さい。

例：バレーボール

- ・ 上記高校で○年間男子バレーボール部に所属した。
- ・ 上記大学で生涯スポーツを専攻し、卒業論文では「○○○○○」を取り上げた。また、男子バレーボール部に○年間所属した。
- ・ ○○市立○○中学校に勤務し、体育を担当した。また、女子バレー部のコーチとして、中学生を指導して地区・県大会へ出場した。
- ・ 地域の小学生、ママさんチームへの指導を行い、初心者への指導と共に選手養成も実践し、チームマネジメントも経験した。
- ・ 以下がバレーボールにおける成績である。
 - ・ 県中学新人バレーボール大会優勝（199○年）
 - ・ 県○○郡中体連大会バレーボールの部第 2 位（199○年）
 - ・ 県選抜バレーボール大会○○郡予選優勝（200○年）
 - ・ 全○○地区大学バレーボール大会秋季リーグ 3 部優勝（200○年）

一般的な経歴を記述する職種（青少年活動・村落開発普及員・エイズ対策・感染症対策など）

- ボランティア活動、大学での研究内容などを含め、職種に関連する経験を記述してください。勤務先や地域社会において、何らかの活動をした経験がある方は、その具体的な内容を記述して下さい。

例：青少年活動

- ・ 上記大学で社会福祉全般の理論を学習した。卒業論文では「社会における女性の役割」を取り上げた。
- ・ 英国にてコミュニティサービスボランティアに参加し、ホームレス少女の施設などで働いた。
- ・ その後○○県青年団連絡協議会に勤務し、青年団の組織づくり、地域の女性リーダーの育成、各種会議の運営に携わった。
- ・ 青年団協議会常任理事に選任され、日本全国の青年団活動への指導を行った。
- ・ 第○回世界青年の船に参加し、日本ナショナルリーダーを務めた。

別添Ⅰ 資格コード一覧①（括弧書きのあるものは詳細を記入）

運転免許関係			保健衛生・福祉関係		
普通自動車運転免許		10001	医師		40001
普通自動二輪車運転免許		10002	歯科医師		40002
大型自動車運転免許		10003	薬剤師		40003
大型自動二輪車運転免許		10004	看護師		40004
牽引免許		10005	准看護師		40005
大型特殊自動車運転免許		10006	保健師		40006
クレーン・デリック運転士		10007	助産師		40007
フォークリフト運転技能者		10008	受胎調節実地指導員		40008
小型船舶操縦士（級別）		10009	臨床検査技師		40009
車両系建設機械運転技能者（種別）		10010	臨床工学技士		40010
床上操作式クレーン運転技能者		10011	臨床病理技術士		40011
小型移動式クレーン運転技能者		10012	臨床心理士		40012
加工保守・操作関係			歯科衛生士		40013
技能士（職種・級別）		20001	歯科技工士		40014
技術士（技術士補）（部門別）		20002	理学療法士		40015
自動車整備士（種別・級別）		20003	作業療法士		40016
自動車組立整備士		20004	義肢装具士		40017
自動車安全整備士		20005	栄養士		40018
電気工事施工管理技士（級別）		20006	管理栄養士		40019
電気工事士（種別）		20007	衛生管理者（種別）		40020
電気通信主任技術者（種別）		20008	介護福祉士		40021
電気主任技術者（種別）		20009	介護支援専門員		40022
工事担任者（類別・種別）		20010	社会福祉士		40023
建築士（級別）		20011	社会福祉主事		40024
建築施工管理技士（級別）		20012	社会福祉主事任用資格		40025
建設機械施工技士（級別）		20013	診療放射線技師		40026
土木施工管理技士（級別）		20014	救急救命士		40027
測量士（測量士補）		20015	鍼師		40028
危険物取扱者（種別・類別）		20016	灸師		40029
毒物劇物取扱責任者（品目別）		20017	3学会合同呼吸療法認定士		40030
溶接技術者（級別）		20018	食品衛生管理者		40031
ガス溶接技能者		20019	製菓衛生師		40032
ガス溶接作業主任者		20020	ヘルスケアリーダー		40033
ガス主任技術者（種別）		20021	美容師		40034
ボイラー技士（級別）		20022	福祉仕環境コーディネーター（級別）		40035
放射線取扱主任者（種別）		20023	音楽療法士（音楽療法士補）		40036
エックス線作業主任者		20024	細胞検査士		40037
玉掛技能者		20025	認定心理士		40038
自動車検査員		20026	ME（種別）		40039
自動車塗装士		20027	MR		40040
造園施工管理技士（級別）		20028	透析技術認定士		40041
管工事施工管理技士（級別）		20029	言語聴覚士		40042
コンクリート技士		20030	ホームヘルパー（級別）		40043
火薬類製造保安責任者（種別）		20031	教育関係		
火薬類取扱保安責任者（種別）		20032	小学校教諭免許（種別）		50001
有機溶剤作業主任者		20033	中学校教諭免許（科目・種別）		50002
特定化学物質等作業主任者		20034	高等学校教諭免許（科目・種別）		50003
酸素欠乏危険作業主任者（種別）		20035	養護学校教諭免許（種別）		50004
高圧ガス製造保安責任者（種別）		20036	幼稚園教諭免許（種別）		50005
冷凍空調技士（種別）		20037	盲学校教諭免許（種別）		50006
エネルギー管理士（種別）		20038	聾学校教諭免許（種別）		50007
公害防止管理者（種別）		20039	学校図書館司書教諭		50008
公害防止主任管理者		20040	保育士		50009
防火管理者（種別）		20041	学芸員（学芸員補）		50010
農林水産・畜産・食品関係			司書（司書補）		50011
農業普及指導員		30001	社会教育主事		50012
林業普及指導員		30002	職業訓練指導員（職種別）		50013
林業技士		30003	養護教諭（種別）		50014
獣医師		30004	専修学校教員免許（科目）		50015
家畜人工授精師		30005	生涯学習インストラクター（級別）		50016
調理師		30006			
ふぐ調理師		30007			
営農指導員		30008			
防除指導員		30009			
家畜商		30010			
家畜受精卵移植師		30011			
農産物検査員		30012			
農業機械士		30013			

別添Ⅰ 資格コード一覧②（括弧書きのあるものは詳細を記入）

文化関係			その他の資格関係		
秘書技能検定	(級別)	60001	第1種情報処理技術者		90001
日本漢字能力検定	(級別)	60002	第2種情報処理技術者		90002
珠算検定	(主催団体・級別)	60003	基本情報技術者		90003
簿記検定	(主催団体・級別)	60004	情報処理技術者・システムアドミニストレーター		90004
陸上無線技術士	(級別)	60005	情報処理技術者・上級システムアドミニストレーター		90005
アマチュア無線技士	(級別)	60006	情報処理技術者・ネットワークスペシャリスト		90006
16ミリ発声映写機操作認定証		60007	情報処理技術者・システムアナリスト		90007
ヤマハグレード	(楽器・級別)	60008	情報処理技術者・システム監査技術者		90008
カワイグレード	(楽器・級別)	60009	情報処理技術者・プロジェクトマネージャー		90009
書道	(主催団体・段/級別)	60010	情報処理技術者・アプリケーションエンジニア		90010
華道	(主催団体・資格別)	60011	情報処理技術者・システム運用管理エンジニア		90011
茶道	(主催団体・資格別)	60012	情報処理技術者・プロダクションエンジニア		90012
数検(実用数学技能検定)	(級別)	60013	情報処理技術者・データベーススペシャリスト		90013
暗算検定	(級別)	60014	情報処理技術者・マイコン応用システムエンジニア		90014
特殊無線技士	(種別・級別)	60015	ソフトウェア開発技術者		90015
語学関係			テクニカルエンジニア	(種別)	90016
TOEIC *600点以上のみ	(スコア)	70001	情報セキュリティアドミニストレーター		90017
TOEFL *470点以上のみ	(スコア)	70002	マイクロソフト認定技術資格(MCP)	(種別)	90018
実用英語技能検定 *2級以上のみ	(級別)	70003	マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS試験)	(種別)	90019
国連英検 *C級以上のみ	(級別)	70004	シスコ技術者認定資格	(種別)	90020
実用フランス語技能検定	(級別)	70005	サンマイロ認定資格	(種別)	90021
スペイン語技能検定	(級別)	70006	ハル認定資格	(種別)	90022
中国語検定	(級別)	70007	オラクルマスター	(種別)	90023
漢語水平考試	(級別)	70008	Mac利用技術能力検定	(種別・級別)	90024
日本語教育能力検定		70009	CAD利用技術者試験	(級別)	90025
日本語教師養成講座 420時間修了		70010	DB2グローバルマスター	(種別)	90026
ケンブリッジ英検	(級別)	70011	NTTコミュニケーションズインターネット検定ドットコム	(種別)	90027
ビジネス英検(BEST)*グレードC以上	(級別)	70012	JP1技術者認定	(種別)	90028
国際英検	(級別)	70013	情報処理活用能力検定	(級別)	90029
商業英検	(級別)	70014	Javaプログラマー認定試験		90030
観光英語検定	(級別)	70015	データベース検索技術者認定試験	(級別)	90031
ドイツ語技能検定	(級別)	70016	情報検索基礎能力試験		90032
スペイン語検定(DELE)	(級別)	70017	画像情報技能検定	(種別・級別)	90033
フランス語資格試験(DELF)(級別)		70018	コンピュータサービス技能評価試験	(種別・級別)	90034
スポーツ関係			情報処理技能検定試験	(種別・級別)	90035
柔道	(段)	80001	日本語文書処理技能検定	(級別)	90036
剣道	(主催団体・段)	80002	総合旅行業務取扱管理者		90037
空手	(流派・段)	80003	国内旅行業務取扱管理者		90038
サッカー審判員		80004	一般旅程管理主任者		90039
バレーボール協会公認資格	(種別)	80005	国内旅程管理主任者		90040
スキー技能検定	(級別)	80006	洋裁技術検定	(級別)	90041
潜水士		80007	カラーコーディネーター	(級別)	90042
救急法救急員		80008	ファッションコーディネート色彩能力検定	(級別)	90043
弓道	(段)	80009	ファッションビジネス能力検定	(級別)	90044
少林寺拳法	(主催団体・段)	80010	パターンメイキング技術検定	(級別)	90045
障害者スポーツ指導員		80011	インテリアコーディネーター		90046
スポーツプログラマー	(種別)	80012			
スポーツ指導者	(競技別)	80013			
健康運動指導士		80014			
日本赤十字社水上安全法救助員		80015			
レクリエーション・コーディネーター		80016			
レクリエーション・インストラクター		80017			
福祉レクリエーション・ワーカー		80018			
グループレクリエーション・ワーカー		80019			
余暇生活開発士		80020			
余暇生活相談員		80021			
ネイチャーゲーム指導員	(級別)	80022			
森林インストラクター		80023			
キャンプインストラクター		80024			
キャンプディレクター	(級別)	80025			
ガールスカウトリーダー		80026			
ボーイスカウトリーダー		80027			
スポーツ少年団指導者		80028			
日本スポーツ少年団認定員		80029			
日本スポーツ少年団認定育成員		80030			
日本サッカー協会公認指導員	(種別・級別)	80031			

使用できるもの														使用してはならないもの				
あ A	い I	う U	え E	お O														
か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO		きゃ KYA	きゅ KYU	きょ KYO										
さ SA	し SHI	す SU	せ SE	そ SO		しゃ SHA	しゅ SHU	しょ SHO		し SI		しゃ SYA	しゅ SYU	しょ SYO				
た TA	ち CHI	つ TSU	て TE	と TO		ちゃ CHA	ちゅ CHU	ちょ CHO		ち TI	つ TU	ちゃ TYA	ちゅ TYU	ちょ TYO				
な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO		にゃ NYA	にゅ NYU	にょ NYO										
は HA	ひ HI	ふ FU	へ HE	ほ HO		ひゃ HYA	ひゅ HYU	ひょ HYO		ふ HU								
ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO		みゃ MYA	みゅ MYU	みょ MYO										
や YA		ゆ YU		よ YO														
ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO		りゃ RYA	りゅ RYU	りょ RYO										
わ WA		を O		ん N(M)														
が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO		ぎゃ GYA	ぎゅ GYU	ぎょ GYO										
ざ ZA	じ JI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO		じゃ JA	じゅ JU	じょ JO		じ ZI		じゃ ZYA	じゅ ZJU	じょ ZJO				
だ DA	ぢ JI	づ ZU	で DE	ど DO						ぢ DI								
ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO		びゃ BYA	びゅ BYU	びょ BYO										
ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO		ぴゃ PYA	ぴゅ PYU	ぴょ PYO										